

令和3年度 佐世保市当初予算の概要

～ ポストコロナ時代を見据えた

健全財政と圏域の活性化の両立 ～

令和3年2月

佐世保市

I 予算編成にあたって

1 基本方針

本市の令和3年度の予算編成におきましては、今後、新型コロナウイルスワクチン接種も予定されていることから、その収束の後、年度後半から本格的に景気が回復していくという基本的な考えのもと、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、ポストコロナの新しい社会を目指すとともに、第7次総合計画を着実に実行していくこととする「ポストコロナ時代を見据えた健全財政と圏域の活性化の両立」を掲げ、改革を進めつつ、財源の重点的な配分に努めたところです。

予算編成に際しては、社会保障や教育など市民生活の基盤を支える施策について所要の財源を確保したうえで、第7次総合計画が目指すまちづくりの方向性である4つの都市像（「しごと」「ひと」「まち」「くらし」）を牽引する「8つのリーディングプロジェクト」や、新しい生活様式などのポストコロナ対応事業に財源を優先配分するなど、「選択と集中」の徹底による戦略的財源配分に取り組みました。

2 予算編成の考え方

予算編成にあたっては、財政計画に基づく予算フレームを設定したうえで、部局長マネジメントのもと、成果向上とコスト縮減の実現を目指します。

また、将来に向けた安定した財政運営を目指し、今から改革を行う必要があるため、「第6次佐世保市行財政改革推進計画」に掲げる改革改善を行うことで、財政の健全化を図るとともに、改革改善により生じた財源を事業の「選択と集中」により、効果的に投資することで、本市の経済活性化と市民生活の満足度向上につなげていく、「行政経営戦略サイクル」の推進を図っています。

(1) 第7次総合計画に沿った予算編成

○ ポストコロナ時代を迎えるための取組への財源の重点配分

☞ “コロナに負けない元気なまちを目指して”

- ・新しい生活様式等への対応

○ それぞれの都市像実現に向けた重点的な取組に財源を重点配分

☞ “新たな時代への挑戦”

- ・まちづくりの方向性に沿った確実な事業展開
- ・リーディングプロジェクトの推進
- ・地域の実情や市民ニーズに応じた実効ある取組にも対応
- ・総合計画に包含される「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の展開
- ・西九州させば広域都市圏形成による圏域全体の活性化に向けた取組の推進

☞ 財源配分の重点化

- ・発展性、税収増が見込まれるもの、費用負担の軽減につながるものは優先配分

○ 行政経営戦略サイクルの推進

☞ 社会保障関係、教育など市民生活の基盤を支える政策は所要額を確保

- ・既定方針の見直し、生活関連公共事業は感染症の状況を注視しつつ、一部補正で対応

☞ 成果向上とコスト縮減の実現

- ・「選択と集中」の徹底による戦略的財源配分

○ 部局長マネジメント

☞ 部局長が中心となった部局の予算編成

- ・部局長自らが部局の経営方針を策定、事務効率化などを指示・検討

(2) 安定した財政運営を目指した改革の実現

○ 行財政改革推進計画に沿った改革改善の推進

☞ 将来の財源不足解消に向け、今から改革を行うことが不可避

- ・事務事業の点検、見直しの重点化
- ・サンセット方式による、新規、既存事業の点検・評価
- ・適正な徴収目標を定め、収入増・徴収率増の検討及び未収債権の縮減
- ・資産活用基本方針を踏まえた保有資産の有効活用
- ・長寿命化計画「公共施設適正配置・保全基本計画」等に基づく計画的な維持管理の検討（国庫補助等も活用）
- ・長期継続契約や債務負担行為の活用による工期の平準化、効率的な事業の進捗
- ・他部局間での連携・統合など業務再編による効果及び効率性を最大化

- ☞ 中長期の財政収支や後年度負担を考慮し、財政規律の堅持
 - ・ 予算フレームの設定、プライマリーバランスを意識した投資的経費の調整
- ☞ 財源配分型予算編成方式と一件査定
 - ・ 3年ごとの一件査定（サンセット方式）による適正配分の実行

Ⅱ 令和3年度当初予算の概要

（以下、数値の比較は令和3年度当初と令和2年度当初との対比によります。）

令和3年度の当初予算は、「一般会計」は1,177億2,816万円で社会保障関係費の増への対応に加え、第7次総合計画で目指すまちづくりに貢献する事業やリーディングプロジェクト等への財源の重点配分を行ったものの、九十九島観光公園の造成工事の完了や一部地域におけるアナログ式からデジタル式への更新終了による防災行政無線整備事業の減などもあり、前年度当初予算に比べ2.6%、31.2億円の減となりました。

「特別会計」は、859億1,195万円で、住宅事業特別会計における事業費の増や競輪事業特別会計における車券売上金の増などにより、前年度当初予算に比べ10.0%の増となっております。

「企業会計」は、231億3,530万円で、下水道事業会計における事業費の増などにより、前年度当初予算に比べ2.1%の増となっています。

これらにより、本市の予算総額は2,267億7,541万円となり、前年度当初予算に比べ2.3%の増となっております。

新年度当初予算の特徴といたしましては、「8つのリーディングプロジェクト」として関連する25事業に17億1,726万円を計上するとともに、コロナ禍を変革の機会ととらえ、第6次行財政改革推進計画（後期プラン）の目標としている標準財政規模の10%をこえて保持する財源調整2基金を活用し、「新しい生活様式」を構築するための新たな取組を「ポストコロナ対応事業」として、複数年かけて計画的に実施していくこととします。なお、令和3年度は4事業に1億2,534万円を計上しています。

その他、道路や公共施設改修などの生活関連公共事業については、コロナ禍により
 税収等も不透明なことから、前年度当初予算から23.2%減の27億3,183万
 円を計上し、感染症の状況を注視しつつ、今後、補正予算等に対応していくこととし
 ました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策や、近年の激甚化する自然災害への対応のた
 め、予備費の増額や、農業用施設及び土木施設の単独災害復旧費を増額しました。

(1) 一般会計は、31.2億円(2.6%)の減となっており、主な増減は下記のとおりです。

① 人件費の増 1.0億円

新型コロナウイルス感染症対策事業費の増など

② 物件費の減 △5.8億円

新型コロナウイルス感染症対策事業費の増、ふるさと納税推進事業費の減など

③ 積立金の減 △5.8億円

ふるさと佐世保元気基金積立金、財政調整基金積立金の減など

④ 普通建設事業費の減 △15.8億円

九十九島観光公園整備事業費、防災行政無線整備事業費の減など

⑤ 貸付金の減 △4.0億円

中小企業制度融資の減など

(2) 特別会計は、78.0億円(10.0%)の増となっており、主な増減は下記のとおりです。

① 住宅事業特別会計の増 15.4億円

住宅建設費の増など

② 国民健康保険事業特別会計の減 △9.5億円

保険給付費、国民健康保険事業費納付金の減など

③ 競輪事業特別会計の増 65.5億円

車券売上の増など

④ 卸売市場事業特別会計の減 △2.3億円

公債費の減など

- ⑤ 介護保険事業特別会計の増 2. 3 億円
保険給付費の増など
- ⑥ 病院資金貸付事業特別会計の増 6. 3 億円
貸付金の増など

(3) 企業会計は、4. 7 億円 (2. 1%) の増となっており、主な増減は下記のとおりです。

- ① 水道事業会計の減 △0. 8 億円
資本的支出における事業費の減など
- ② 下水道事業会計の増 5. 5 億円
資本的支出における事業費の増など

会計別予算

(単位：千円)

会 計 別		令和 3 年度	令和 2 年度	増減額	増減率 (%)
一般会計		117,728,161	120,847,637	△ 3,119,476	△ 2.6
特別会計	住宅事業	4,694,230	3,157,809	1,536,421	48.7
	国民健康保険事業	26,162,271	27,113,433	△ 951,162	△ 3.5
	競輪事業	22,509,311	15,955,895	6,553,416	41.1
	卸売市場事業	954,682	1,183,815	△ 229,133	△ 19.4
	地域交通体系整備事業	20,078	276	19,802	7,174.6
	土地取得事業	213,175	290,865	△ 77,690	△ 26.7
	介護保険事業	25,539,902	25,314,079	225,823	0.9
	交通船事業	38,806	36,200	2,606	7.2
	集落排水事業	28,336	35,173	△ 6,837	△ 19.4
	後期高齢者医療事業	3,504,886	3,380,278	124,608	3.7
	工業団地整備事業	24,416	63,015	△ 38,599	△ 61.3
	港湾整備事業	331,072	286,401	44,671	15.6
	臨海土地造成事業	111,509	141,653	△ 30,144	△ 21.3
	母子父子寡婦 福祉資金貸付事業	37,403	34,864	2,539	7.3
	病院資金貸付事業	1,741,869	1,113,375	628,494	56.4
	小 計	85,911,946	78,107,131	7,804,815	10.0
企業会計	水道事業	12,080,304	12,163,285	△ 82,981	△ 0.7
	下水道事業	11,054,996	10,502,442	552,554	5.3
	小 計	23,135,300	22,665,727	469,573	2.1
合 計		226,775,407	221,620,495	5,154,912	2.3

Ⅲ 一般会計予算の概要

1 財政

(1) 収支

令和3年度から、ポストコロナを見据えた新たな取組を着実に進めるため、通常収支とポストコロナ対応収支に区分した予算としています。

コロナ禍を変革の機会ととらえ、標準財政規模の10%をこえて保持する財源調整2基金を活用した「新しい生活様式」を構築するための新たな取組「ポストコロナ対応事業」を実施することとしております。

【通常収支】

① 財源調整としての基金繰入金（財政調整基金・減債基金）

R3 27.3億円 ← R2 33.5億円

令和3年度は、通常の財源調整分25億円に加え、地方創生の取組などへ2.3億円を繰り入れています。

なお別途、施設整備基金から、本庁舎リニューアル工事等の財源として5.8億円を計画的に繰り入れています。

【ポストコロナ対応収支】

② ポストコロナ対応としての基金繰入金（財政調整基金）

R3 1.3億円

コロナ禍の中、ポストコロナ時代を見据えた変革のための新たな取組を計画的に実施することとしており、その財源として、財政調整基金を活用します。

※財源調整2基金の年度末残高見込

R3 80.4億円 ← R2 82.6億円

(特殊要素を除いた残)

R3 73.2億円 ← R2 74.2億円

※財源調整2基金とは、「財政調整基金」と「減債基金」を指します。

※令和3年度末残高には、前年度剰余金見込み25億円の積み立てを含んでいます。

(2) 歳入

① 一般財源総額 ※R3 と R2 当初の年間見込み対比

R 3 6 4 2 . 2 億円 ← R 2 6 5 0 . 2 億円
(当初予算充当 636.2 億円) (当初予算充当 646.9 億円)

令和3年度は、市税において、固定資産税の家屋の新・増築などの増はあるものの、コロナ禍に伴う個人市民税や法人市民税の減に加え、中小事業者等が所有する償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税等の軽減措置による影響などを見込み、前年度比5.5%減の278.8億円となりました。

なお、地方交付税や臨時財政対策債の総額は、前年度比1.8%増の285.2億円、固定資産税や都市計画税の軽減額の国の補てん措置等により、地方特例交付金が377.4%増の6.7億円などがあるものの、景気の動向に左右される地方消費税交付金が2.2億円の減となったことなどにより、一般財源総額の見込みは、1.2%、8.0億円の減となっています。

③ 地方債

発行額 9 0 . 7 億円

地方債依存度 1 4 . 3 %

年度末残高見込 1, 0 0 9 . 7 億円 うち臨時財政対策債 447.3 億円

(前年度末残高見込 1, 009.8 億円 うち臨時財政対策債 441.0 億円)

公債費元金償還金(100.1億円)から市債発行額(90.7億円)を差し引いたプライマリーバランスは9.4億円の黒字であり、市債の年度末残高はその分だけ減少します。

実質的な赤字地方債である臨時財政対策債の残高は、前年度より6.3億円増の447.3億円となり、市債残高の44.3%を占めています。

(3) 歳出

①「目的別」の状況

「総務費」では、基金造成費（△5.8億円）の減があるものの、教育費から移管するコミュニティセンター費（+7.8億円）の増などにより構成比は0.2ポイント増となっています。

「民生費+衛生費」では、民生費で、障がい者自立支援事業費（+3.4億円）の増がありましたが、社会福祉施設整備事業費（△0.6億円）や保育所施設整備事業費（△3.2億円）の減などがありました。衛生費で、動物愛護管理拠点施設（仮称）建設事業費（△1.8億円）の減があったものの、新型コロナウイルス感染症対策事業費（+3.7億円）の増などがあり、合わせた構成比は1.6ポイントの増となっています。

「農林水産業費+土木費+港湾費」では、土木費における九十九島観光公園整備事業費の減（△7.4億円）などにより、構成比は0.3ポイントの減となりました。

なお、「消防費」において、防災行政無線整備事業費の減（△4.5億円）などにより、構成比が0.4ポイント減、「教育費」において公民館費を総務費に移管したことなどにより、構成比が0.7ポイント減となりました。

③「性質別」の状況

「扶助費」は、生活保護費（△1.8億円）が減となりましたが、サービスの利用件数の増に伴う障がい者自立支援事業費の増（+3.4億円）などもあり、構成比は0.8ポイント増加しました。

なお、扶助費の増に伴い、社会保障関係費の総額も、前年から2.2億円の増となっております。

「普通建設事業費」は、九十九島観光公園整備事業費（△7.4億円）や防災行政無線整備事業費（△4.5億円）の減などにより、構成比が1.0ポイント減少しています。

「義務的経費」は、人件費（1.0億円）、扶助費（1.0億円）、公債費（0.9億円）全てで増となっており、構成比が1.6ポイント増加しました。

目的別の状況（構成比）	2年度	3年度
総務費	9.8% →	10.0%
民生費＋衛生費	49.4% →	51.0%
農林水産業費＋土木費＋港湾費	10.4% →	10.1%
消防費	4.5% →	4.1%
教育費	10.4% →	9.7%

性質別の状況（構成比）	2年度	3年度
扶助費	28.8% →	29.6%
普通建設事業費	10.7% →	9.7%
義務的経費 (人件費、扶助費、公債費)	54.6% →	56.3%

令和3年度 ポストコロナ対応事業一覧

No.	部局名	事業名	事業概要	地域未来構想20	事業費		予算説明 資料P
					事業費	うち一財	
1	総務部	電子決裁・文書 管理システム経 費	紙媒体での決裁を見直し、ペーパーレス 化や適正な文書サイクル管理事務効率 化の観点から、電子決裁・文書管理シ ステムの導入を検討するもの。	(a) 社会的な環境整備 ④ 行政IT化	22,300	22,300	15
2	総務部	先進的ICT技 術活用企画費	紙文書をテキストデータに変換する、AI (人工知能)を搭載した光学文字認識 ツール(AI-OCR)を導入し、単純作業 の省力化による業務効率化を図るもの。	(a) 社会的な環境整備 ④ 行政IT化	5,300	5,300	15
3	企画部	政策企画調整 事業費	太陽光発電パネル及び蓄電池の設備導 入費用に対し補助する。 ・設置対象施設は市内27の公共施設 ・機器の所有権は株式会社西九州させぼ パワーズ	a) 社会的な環境整備 ⑥脱炭素社会への移 行	96,735	96,735	15
4	観光商 工部	地域経済潜在 力調査事業費	新型コロナウイルス感染症が地域経済に もたらしている影響を、RESASやその他の データを用いて「見える化」し、強み弱みを 分析し、施策及び支援策等を検討するた め。	(a) 社会的な環境整備 ⑧地域経済の可視化	1,000	1,000	28
計					125,335	125,335	

2 予算編成における改革改善について

◇ 歳出面の改革改善

(単位：億円)

事業費 (うち一般財源)

(A) 令和2年度当初予算額 1,208.48 (696.58)

① リーディングプロジェクト・連携事業における新規・拡大 14.99 (5.00)

② ★ ムリ・ムダ・ムラの削減 ▲6.44 (▲3.69)

(見積額の適正化、不用額の削減など)

③ ★ 目的の達成、公共関与の見直し等による削減 ▲2.10 (▲1.16)

④ ★ サンセットによる削減 ▲0.41 (▲0.33)

★ 改革改善効果 (②～④小計) ▲8.95 (▲5.18)

⑤ 事業の終了 ▲45.92 (▲13.58)

⑥ 感染症対策等に伴う増(予備費増額含む) 9.32 (5.25)

⑦ 災害復旧対応に伴う増 0.5 (0.5)

⑧ その他(自然増減など) ▲31.20 (▲3.33)

計 (①～⑧) ▲31.20 (▲11.34)

(B) 令和3年度当初予算額 1,177.28 (685.24)

(B) - (A) 前年度予算からの比較 ▲31.20 (▲11.34)

【参考】 (C) 令和3年度当初予算要求額 1,230.10 (728.00)

(B) - (C) 要求額からの改革改善(削減)額 ▲52.82 (▲42.76)

◇ 歳入面の改革改善(主なもの)

(単位：億円)

令和3年度当初予算における改善効果額 1.8 (3件)

① 基金繰入(減債基金) 0.8 (2件)

② 競輪事業収入繰入 1.0 (1件)

Ⅳ 第7次総合計画におけるまちづくりの考え方

1 まちづくりの分野別取組

令和3年度においては、まずは、新型コロナウイルス感染症対策や経済・雇用対策を優先的に実施することで、市民の皆様の生活をしっかり守り、昨年からスタートした第7次総合計画を確実に推進することで、発展的な佐世保市がつくられていくものと考えています。

その第7次総合計画は、将来の都市像を掲げ、その実現に向けた基本的な姿勢や中長期的な展望を明らかにしたものであり、市民の皆様が安全で安心して、生きがいと幸せを実感できる暮らしをおくるための社会の実現を目指しています。

実現に向けた政策展開にあたっては、「挑戦」、「創造」、「多様性」、「共生」を総合計画の基本理念とし、その理念のもと「しごと」、「ひと」、「まち」、「くらし」の4つの分野で、市民の皆様と一緒に目指す都市像を明確に表したうえで、これらの政策について、行政として、しっかりと下支えする「行政経営」の方向性を示し、この5つの分野をもって、戦略的に、将来像の実現を図ります。

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環をしっかりと確立する政策を展開し、そして、新たな人の流れを生み出すことで、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる、暮らし続けられるまちへの好循環スパイラルを目指します。

なお、その実現には、安心・安全な都市基盤を守る必要があるため、令和2年3月に「佐世保市国土強靱化地域計画」を策定し、災害に対して強くしなやかな都市基盤の構築を目指しているところです。

《4つの都市像》

- ◆「しごと」 「活力あふれる国際都市」
- ◆「ひと」 「育み、学び、認め合う『人財』育成都市」
- ◆「まち」 「西九州を牽引する創造都市」
- ◆「くらし」 「地域が社会を築く安心都市」

この4つの都市像の実現に向けた、令和3年度における主な取組と、下支えするための行政経営の目指す考え方を記載し、主な事業を一覧で記載しています。

なお、総合計画を牽引するための重点施策「リーディングプロジェクト」に関しては、別途、記載しています。

① 「しごと」～活力あふれる国際都市

「観光商工政策」では、将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を図ります。

「農林水産政策」では、地域の特色を生かした「産品」と、元気な「担い手」の育成による農林水産業の活性化を図ります。

「企業立地政策」では、製造業及びオフィス系企業など魅力ある雇用を生み出す企業立地を実現させ、市外への人口流出抑制及びU・Iターンによる流入人口増加を図ります。

② 「ひと」～育み、学び、認め合う『人財』育成都市

「子ども未来政策」では、「第2期新させぼっ子未来プラン」に基づき、子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまちを目指します。

「教育政策」では、学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ります。

③ 「まち」～西九州を牽引する創造都市

「都市政策」では、少子高齢化・人口減少社会のなかで、新たな本市の都市計画マスタープランに基づき、地域の活力の維持に努めます。

「水道政策」では、新上下水道ビジョンの経営理念に基づき、公衆衛生と生活環境を支える水道政策の確実な推進を図ります。

「土木政策」では、拠点間の連絡強化や、市民生活や経済活動を支える道路ネットワークを充実させ、活力あるまちづくりを推進し、また、激甚化・頻発化する自

然災害などから市民の安全を守るための社会インフラの整備や、災害危険箇所の周知により、安全で安心なまちを築きます。

「環境政策」では、廃棄物の適正処理による生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、環境によい行動を自ら選び、取り組む「環境市民」を育成することで、持続可能な循環型のまちづくりを行います。

「港湾政策」では、佐世保港において、環境の保全に配慮しつつ、計画的な整備、適正な管理及び利用促進を行うことで、港湾の適正な利用と保全、本市の発展を図ります。

④ 「くらし」～地域が社会を築く安心都市

「市民生活政策」では、身近な絆の象徴である地域コミュニティの活性化や、人を大切にし、支え合う仕組みづくりを進めるとともに、交通事故や消費者被害に遭わない環境整備の充実により、誰もがいつまでも安全・安心で快適に暮らせる市民生活の実現を図ります。

「保健福祉政策」では、健康を支える環境や地域医療の体制など、保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる体制をつくり、地域共生社会を目指して、誰もが共に支え合い、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまちづくりの実現を図ります。

「消防政策」では、火災や自然災害並びに救急・救助に迅速かつ的確に対応するとともに、火災予防対策を推進することで、住む人と佐世保を訪れる人たちの安全・安心を守ります。

「防災危機管理政策」では、災害や緊急事態から市民の生命及び財産を守り、また防災関係機関と連携して、被害を最小限に抑える環境・体制を整え、災害や緊急事態に強いまちの実現を図ります。

⑤ 「行政経営」

「行政経営」においては、市民ニーズ等に応じた政策課題に適切に対応しつつ、より効率的で効果的な行政サービスを提供するため、行政体制の整備等に努めるとともに、的確な分析による戦略的な行政経営を推進します。

第7次総合計画におけるまちづくりの分野別 主な取組

(単位:千円)

担 当 部 局	新規 拡充	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	予算 説明 資料 P
しごと 『活力あふれる国際都市』				32,386,889	
観光商工部	拡充	観光客誘致促進事業	佐世保観光コンベンション協会への補助、クルーズ客船受入業務補助、佐賀・長崎DCキャンペーン負担金など	126,732	28
観光商工部		訪日外国人誘致事業	東アジア・東南アジアを中心とした観光プロモーション、クルーズ船観光バス予約管理システム運用など	19,070	28
観光商工部		観光地域づくり推進事業	観光地域づくりプラットフォーム構築事業、観光地域ブランド確立事業、住んでよし・訪れてよし観光まちづくり補助金	98,589	28
観光商工部		広域連携による周遊観光の推進事業	マーケティング調査等経費、インバウンド対策経費、国内外への情報発信など(連携事業)	26,834	29
観光商工部	拡充	世界遺産活用推進事業	世界遺産プロモーション業務、黒島観光受入環境整備、グリーンスローモビリティ導入への補助など	21,820	28
観光商工部		九十九島パールシーリゾート管理運営整備事業	九十九島パールシーリゾート(九十九島水族館、駐車場、ターミナルビル、ビジターセンター、園地)の管理運営経費、法面工事、冷却器取替工事など	85,423	29
観光商工部	拡充	中小企業融資	長短期計7種類(DX資金(新規)含む)の中小企業融資制度の運用を行う。また、当該制度融資に係る保証料の一部を補給する。	3,115,000	27
観光商工部	拡充	中小企業経営向上	中小企業の経営相談等の対応、中小企業の支援団体に対する支援、中小企業のデジタル化に対する支援など	8,960	26
観光商工部	拡充	産業コーディネート事業	産業コーディネート事業(コーディネータに係る経費(3名)、機能拡充に伴う経費、産業支援センター施設維持管理費など)	34,698	27
観光商工部	新規	サテライトオフィス開設促進事業	サテライトオフィス開設に伴う、施設改修費、賃料、雇用などの経費に対する補助	10,000	28
観光商工部	新規	地域経済潜在力調査事業	新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済への影響を調査するもの	1,000	28
観光商工部	拡充	させぼ産品振興事業	佐世保市の物産振興を図るため、市民及び都市圏の消費者に対して「させぼ産品」の認知度向上のための情報発信及び販売促進(一部連携事業)	12,820	28
農林水産部	新規	新規就農者支援事業	農業への新規参入希望者に対する本市独自の研修制度の実施や、初期費用に対する支援	5,672	24
農林水産部		農水産物等特産品販路拡大事業	【連携事業】 連携市町における農水産物等特産品の販路拡大に向けた取組	22,660	25
農林水産部	拡充	畜産振興対策事業	「させぼ生まれ、させぼ育ち」の長崎和牛の認知度向上、消費拡大に資する取組への支援 【拡充】 市内直売所とコラボした長崎和牛の試食・販売会	1,560	25
農林水産部	新規	農村地域基盤整備助成事業	針陽地区(針尾東町)の農地における、排水施設等整備への支援及び農地の集積に対する支援	18,275	25
農林水産部		森林環境譲与税事業	未整備森林の森林所有者に対する経営管理についての意向調査	27,210	25
農林水産部	新規	地方創生道(林道)整備推進交付金事業	林道田代線(新設) 測量設計 林道瀬替線(改良) L=50m	16,160	25
農林水産部		種苗生産事業	【一部連携事業】 広域的な栽培漁業推進のための放流用種苗等の計画生産及び供給	23,870	26

(単位:千円)

担 当 部 局	新規 拡充	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	予算 説明資料 P
農林水産部	拡充	水産センター機能強化事業	【連携事業】 高付加価値種苗の研究開発による養殖漁業の振興および連携市町を含めた栽培漁業の拠点的作用を担うための施設整備 【拡充】 調餌棟、受発電棟などの整備、新魚種生産棟などの実施設計	327,664	26
農林水産部		水産市場管理運営事業	水産市場の管理運営および水産加工団地の整備	236,020	40
		その他		28,146,852	
ひと 『育み、学び、認め合う「人材」育成都市』				28,565,109	
子ども未来部	新規	次世代育成推進事業	子育て支援を官民連携で行う。 ・ホームページ、子育て支援アプリによる広報【新規】 ・子育てアイデア実現化のための奨励金 ・イクボスセミナーやライフデザイン構築セミナー開催 ・コロナ禍において、子ども食堂など民間団体等も含めた子どもの支援対象児童見守り強化事業を行う。【新規】	6,619	20
子ども未来部	新規	医療的ケア児保育支援事業	医療的ケア児の入園に必要なケアが行える環境を整える ・訪問看護ステーション委託 2施設 ・看護師配置人件費補助 1施設	7,635	20
子ども未来部	新規	アレルギー疾患対応事業	経済的支援が必要な世帯にアレルギー除去食提供のための文書料補助を行う。 【対象】非課税世帯	146	20
子ども未来部		放課後児童健全育成事業	昼間、保護者がいない家庭の小学生への遊びと生活の場の提供	689,386	20
子ども未来部		保育所施設整備事業費	保育所1園の施設整備への支援 (債務負担行為:R4 84,022千円)	102,753	20
子ども未来部		保育士確保緊急対策事業	私立保育所及び認定こども園等における年度途中からの入所児童増に対応するための保育士人件費の支援	10,765	20
子ども未来部		病児保育事業費	病気の為集団保育が困難な児童を一時的に看護を行う。市内5施設にて実施。(一部連携事業)	51,295	20
子ども未来部		福祉医療支給事業費	乳幼児、小中学生等の医療費の一部を支給	517,836	20
子ども未来部		中央公園屋内遊び場整備事業	「P-PFI(公募設置管理制度)」を活用し、中央公園内に屋内遊び場を整備する。 R2:実施設計 R3:建設 R4~R21:管理運営	143,351	-
子ども未来部	拡充	新生児聴覚検査事業 (健康診査事業(母子保健関連))	新生児を対象とした聴覚検査の実施 【拡充】単価@2,500円から@3,000円に引上げ	5,353	23
子ども未来部	拡充	妊娠・出産包括支援事業 (育児相談指導事業)	産前産後サポートの為のママサポーターの配置、産後ケア事業の実施。 【拡充】産後ケア期間延長(2か月→1年)、多胎妊婦支援	13,213	23
子ども未来部	拡充	不妊に悩む方への特定治療支援事業	体外受精、顕微授精及び男性不妊の助成 【拡充】所得制限の撤廃、助成額引上げ(15万円→30万円、7.5万円→10万円)、助成回数の増(生涯で6回→1子ごと6回)	85,293	23
子ども未来部		子ども発達センター診療事業 (子ども発達センター事業費)	子どもの発達に関する診察や検査を行う。	29,816	23
教育委員会	拡充	国際理解教育推進事業	英語実践力を育成する事業(イングリッシュキャンプ)の実施、小中一貫校において小学校1、2年生から外国語活動を導入	19,292	34
教育委員会	拡充	小・中学校教育活動推進事業	スマートスクールSASEBO構想に基づき、ICT支援員を3校に1名配置し、教職員のICT活用指導力の向上等を図る	124,054	34
教育委員会	拡充	通級指導教室充実事業	小、中それぞれについて情緒障害通級指導教室の増級を行う ※小学校:3校→4校、中学校:2校→3校	2,484	35

(単位:千円)

担 当 部 局	新規 拡充	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	予算 説明 資料 P
教育委員会	拡充	教職員の研修・教育研究	スマートスクールSASEBO構想に基づき、教職員の研修体制の充実を図るための外部講師の招へい、オンライン研修の実施等を行う	15,394	35
教育委員会	拡充	教育生活相談	子どもを取り巻く環境に働きかけ、諸機関と連携を行うスクールソーシャルワーカーの増員を行う(6名→7名)	35,115	37
教育委員会	拡充	あすなる教室運営	学校・児童生徒・保護者のニーズに合わせたサテライトあすなる教室を開設する	6,932	37
教育委員会	拡充	文化財啓発	西海橋の国重要文化財指定による西海市との共同事業の実施	4,117	36
教育委員会	拡充	英語シャワー事業	英語にかかる交流イベントの実施、グローバル社会で活躍できる次世代リーダーへの第一歩に挑戦する「グローバルキッズ・チャレンジ事業」の実施	8,800	37
教育委員会	拡充	福井洞窟ミュージアム管理運営	令和3年4月開館に伴うイベント開催、普及啓発事業の実施	20,529	37
教育委員会		立神広場整備活用事業	日本遺産(鎮守府)全体の理解を深めることができる拠点施設として立神広場の整備を行うもの	40,005	36
教育委員会	拡充	運営(図書館)	図書館に来館せずにインターネットで資料の提供ができる電子書籍の導入	95,765	37
教育委員会	新規	計画策定・管理業務	第1次佐世保市スポーツ推進計画(仮称)の策定経費	4,000	37
教育委員会	拡充	東京2020オリンピック等関係経費	・東京2020オリンピックにかかる聖火リレー及びセレブレーション開催経費 ・スペインハンドボールチーム及びアメリカ空手チームの事前キャンプ受入れにかかる経費 ・新型コロナウイルス感染症対策に係る経費	51,764	38
		その他		26,473,397	
まち 『西九州を牽引する創造都市』				42,127,241	
都市整備部	新規	都市計画決定経費	都市再生整備計画の策定(新規)、都市再生協議会の開催(新規)、都市計画審議会の開催、都市計画道路見直し(新規)	19,341	31
都市整備部		建築物災害防止事業	老朽危険空家(住宅及び事務所など)除却費用に対する補助(防災・減災事業計画)、老朽危険空家緊急対策工事等に係る経費、住宅・建築物の耐震化への指導助言、戸建木造住宅の耐震診断	37,799	31
都市整備部		斜面密集市街地対策事業 東山地区、戸尾・松川地区 福田・中通地区、矢岳・今福地区	移設補償・道路整備など(東山地区) 用地買収・建物補償など(戸尾・松川地区) 用地買収・建物補償・道路整備など(福田・中通地区) 車みち整備事業(矢岳・今福地区)	126,966	31
都市整備部	新規	市街地再生指導事業	市街地再開発事業基本推進計画策定(新規)、研修会経費など	13,644	32
都市整備部		緑の基本計画策定業務	緑の基本計画策定業務(策定年度 R2~R3)	10,225	32
都市整備部		市営住宅建替事業	泉福寺住宅4期、大黒住宅3期、新田住宅2期、花高1住宅2期、花高1住宅3期、直谷住宅2期、鹿町新田住宅1期	3,024,158	39
水道局		水道施設整備事業	再構築、施設更新、老朽化対策など	3,748,774	44

(単位:千円)

担 当 部 局	新規 拡充	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	予算 説明 資料 P
水道局		公共下水道事業	施設整備、施設更新など	2,878,344	44
土木部	新規	単独改良(建設)	早岐広田町線、花高三丁目14号線整備負担金(新規)など 17線	188,800	30
土木部		道路維持工事	舗装、側溝、路側、防護柵等の補修、除草・陰切り、路面清 掃、街路樹管理、道路パトロールICT化(新規)など	513,323	29
土木部		地方創生道整備推進交付金事 業	東山手上部線 (L=263m(換)) 道路改良工事、橋梁制作	344,352	30
土木部		急傾斜地崩壊対策事業	長坂(16)地区など 24地区における崩壊対策 構造物補修、仮設防護柵設置など 県営事業負担金 陣の内(2)地区など 26地区	569,710	31
土木部		単独河川改良事業	迎田川など 36河川	130,020	31
土木部		排水ポンプ施設維持管理事業	排水ポンプ施設維持管理 小島ポンプ場など10施設 長寿命化 新田ポンプ場	118,796	31
環境部	新規	環境基本計画推進事業	環境政策審議会の開催経費、環境基本計画改定経費など	7,379	24
環境部		環境教育・環境学習推進事業	どこでも環境教室、環境イベントの実施、地球温暖化防止活 動推進センター(させぼエコプラザ)の運営など	10,519	-
環境部		浄化槽補助	浄化槽設置補助金(国庫補助分、市単独分)など	160,552	-
環境部		減量リサイクル推進事業	家庭系ごみの適正排出、資源集団回収事業に対する助成な ど	127,341	24
環境部		ごみ処理施設運営管理事業	ごみ処理施設(西部CC、東部CC、宇久清掃センター)の施 設運営、維持管理など	1,664,131	24
港湾部		ポートセールス振興業務	佐世保港への寄港誘致、クルーズ客船寄港対応	3,749	32
港湾部		港湾施設保安対策維持管理事	SOLAS条約に基づく港湾施設保安対策業務	51,755	32
港湾部	新規	大型客船対応基盤整備事業	三浦地区岸壁整備の事業評価、18万t級クルーズ船受入に かかる検討経費	38,774	33
		その他		28,338,789	
くらし 『地域が社会を築く安心都市』				102,809,830	
市民生活部		地区自治協議会活動等支援事 業	町内会等の活性化や市内27地区コミュニティセンターを拠点 とした地区自治協議会運営支援、	77,537	17
市民生活部		地区自治協議会自立化支援事 業	地域課題解決のためのコミュニティビジネスの検討(セミ ナー、研究会の実施)	1,452	17
市民生活部		地域自治推進体制検証事業	地区自治協議会設立後の効果検証や地域組織の可視化、地 域と行政との整理を行い、第3期地域コミュニティ計画の骨格 の策定	8,628	17
市民生活部		交通安全教育事業費	幼児・高齢者を対象とした交通安全教育の開催	19,271	16

(単位:千円)

担 当 部 局	新規 拡充	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	予算 説明 資料 P
保健福祉部	拡充	災害援護事業費	・大規模災害に備えた災害時用備蓄品の整備 ・火災、風水害等で被災した方への災害見舞金の給付など	16,571	21
保健福祉部		東京2020パラリンピック採火式事業費	東京2020パラリンピック開催に伴う、聖火(採火・集火)イベントの実施	1,916	19
保健福祉部	拡充	在宅医療・介護連携事業費	在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援の実施 (一部連携事業)	30,360	41
保健福祉部		健康管理事業	国民健康保険被保険者に対する保健指導等を行い、健康の保持、増進を図るもの。	42,100	-
保健福祉部		地域医療推進事業費	地域医療推進のための取組 ・UJターン医師支援、医療政策推進行動計画検討 など ※一部連携事業	13,174	21
保健福祉部	拡充	救急医療推進事業費	初期、二次、三次救急医療体制を適正に機能させ、初期から三次までの切れ目ない救急医療体制の構築 ・病院群輪番制病院運営事業委託料の増額改定により拡充(10病院)、小児救急医療支援、輪番制病院施設・設備整備補助(3病院)など	114,465	21
保健福祉部		健康寿命延伸プロジェクト事業費	健康経営の普及・啓発(官民連携)や「佐世保けんこうマンス」などの取り組みを通じた健康づくりのきっかけ提供、「させば健康ポイント事業」の実施 など	2,550	22
保健福祉部		動物愛護管理拠点施設(仮称)建設事業	動物愛護法及び犬管理所の老朽化に対応するための施設整備にかかる経費(外構工事、犬管理所の解体)	40,000	22
消防局		消防庁舎整備 (消防庁舎整備管理事業)	西署江迎・鹿町出張所建設(舗装工事、旧庁舎解体工事)など	23,494	33
消防局		自動車、機械整備 (消防車両等管理事業費)	高規格救急自動車2台の購入	66,991	33
消防局	新規	消防用資機材整備 (消防車両等管理事業費)	佐世保市消防局総合訓練場施設(烏帽子訓練場)の整備 災害用ドローン1台の購入	18,624	33
消防局		消防装備品整備 (消防車両等管理事業費)	消防団のホースや安全装備品の整備。 浸水想定区域の消防団へ水難救助支援ボートを配備する。	3,998	33
消防局		格納庫等建設整備 (消防団施設管理事業)	第11分団本団及び分駐所の格納庫建設(本体工事、舗装工事)	98,167	33
防災危機管理局		地区防災計画策定推進事業	地区自治協議会の地区防災計画策定を支援及び地区自治協議会が行う防災活動費の補助	13,751	33
防災危機管理局		防災行政無線整備事業	一部地域への戸別受信機の配付	561,941	34
		その他		101,654,840	
行政経営				19,748,908	
企画部		政策企画調整事業費	西九州させばパワーズが各避難所に設置する太陽光発電・蓄電池への支援など	106,885	15
企画部		連携中枢都市圏推進事業	連携中枢都市圏の推進にかかる経費	2,250	16
企画部	拡充	UJターン促進事業	移住者増加を図るための各種補助金、まちなかお試し住宅を活用した周遊型ワーケーションの確立	55,838	17
企画部	拡充	過疎等地域振興持続支援事業	条件不利地域の振興の持続を目的とした人材育成及び各種イベントへの支援	5,160	17

(単位:千円)

担 当 部 局	新規 拡充	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	予算 説明 資料 P
企画部		交通不便地区対策事業	乗合タクシー等の運行支援及び交通不便地区対策推進 中通地区など10地区	15,043	16
企画部		公共交通活性化事業	「佐世保市地域公共交通再編実施計画」の次期計画策定検 討及び地域核と都市核をつなぐ速達バスの構築検討	7,922	16
企画部		多文化共生推進事業費	在外外国人に対する様々な面からのサポートを担う「多文化 共生ネットワーク」の構築	1,085	16
基地政策局		基地政策運営経費	前畑弾薬庫移転・返還など新返還6項目の推進	14,694	16
行財政改革推進 局		行財政改革・地方分権推進事業 費	「第6次佐世保市行財政改革推進計画」の後期プランの進捗 管理	3,579	15
総務部		人材育成推進事業	様々な課題に対応した職員研修の実施や長崎県立大学大学 院への職員の入学支援、自治大学校への1年間の長期派遣	16,374	15
総務部		先進的ICT技術活用企画費	紙データをテキストデータに変換するAI(人工知能)を搭載し た光学文字認識ツール(AI-OCR)を試行導入	5,300	15
総務部	新規	電子決裁・文書管理システム経 費	電子的決裁を行うためのシステム構築	22,300	15
財務部		債権管理一元化事業費	市税及び国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の滞納整 理システムの統合	4,419	17
財務部		施設適正配置事業費	第1期適正配置実施計画の実行、第2期適正配置計画の策 定・市民対話の実施	2,500	15
		その他		19,485,559	

総合計画に網羅されない事業群	計	1,137,430	
----------------	---	-----------	--

合計 226,775,407

2 『8つのリーディングプロジェクト』関連事業

地方創生を牽引し、新しい時代へ飛躍するための事業群を、先んじてリーディングプロジェクトとして推進してきており、市民の皆様のシビックプライド（市民や都市としての誇り）の向上を図るための重点施策として位置づけています。

まず、1つ目の「名切地区再整備」については、本市初めてのPark-PFI事業として、中央公園のリニューアル工事に着手します。

民間事業者によって、子ども遊び場をはじめ、様々な魅力的で賑わいある施設が整備されます。令和4年4月には、市民の皆様だけでなく、本市を訪れる観光客にとっても、西九州地域のシンボリックな公園として生まれ変わる予定です。

2つ目の「俵ヶ浦半島開発」については、「九十九島観光公園」が、来月末に暫定オープンを予定しております。

ここでの九十九島の大パノラマは、市民の皆様のみならず、本市を訪れる観光客の方々にこれまでにない景観を体感していただけるものだと思っております。

また、感染症の影響でお時間をいただいておりますが、本格利用を見据えた公園整備の民間事業者からの事業提案や、九十九島動植物園「森きらら」移転の是非については、令和3年度中には、その方向性を示してまいります。

3つ目の「クルーズ船入港体制整備」については、昨年、浦頭地区の岸壁と旅客ターミナルが完成し、クルーズ客船を受け入れる体制が整ったことから、既存の三浦地区と合わせ、本格的なクルーズ再開後におけるスムーズな運営が行えるよう、周辺環境の充実を図ってまいります。

また、地域経済効果に繋げる取組の推進及び地域課題への対応を引き続き実施するとともに、徹底した感染予防対策による観光案内や賑わいづくりなどに取り組むことで、国際クルーズ拠点形成による集客効果の最大化を図ってまいります。

4つ目の「特定複合観光施設（ＩＲ）誘致」については、長崎県の実施方針に基づき、先の1月から事業者公募がなされており、今年の夏ごろまでには、ＩＲ事業者が選定されることになります。

事業者の選定後は、区域認定申請に向け、県及び事業者と連携しながら、九州・長崎ＩＲが目指す姿を具体的に記した区域整備計画の作成に注力してまいります。また、立地自治体として、市民の皆様への丁寧な説明を行うとともに、市議会のご協力を賜りながら、ＩＲ誘致を着実に推進してまいります。

5つ目の「基地との共存共生」については、自衛隊による崎辺地区の利活用が進むなか、地域の交通環境の改善に資する前畑崎辺道路の建設工事が本格化いたします。また、前畑弾薬庫の針尾島弾薬集積所への移転・集約に係る工事用道路については、国による調査や測量が進められてまいります。

6つ目の「企業立地・新工業団地整備」については、コロナ禍で厳しい経済状況が続くなか、企業の動きを見ながら「佐世保相浦工業団地」への誘致活動を積極的に進めてまいります。

7つ目の「英語が話せる街 佐世保」については、引き続き市民協働の下、新たに小学生を対象にした、グローバル社会で活躍できる次世代リーダーへの第一歩に挑戦する「グローバルキッズ・チャレンジ事業」に取り組むなど、さまざまな事業を展開してまいります。

8つ目の「世界で最も美しい湾クラブ加盟の九十九島・世界文化遺産（黒島の集落）・日本遺産（佐世保鎮守府、三川内焼）の活用」については、その魅力をメディアやSNSを通じて、全国・全世界に発信してまいります。

また、世界文化遺産「黒島の集落」については、黒島天主堂が2年間の耐震化・保存修理工事を終了しリニューアルオープンすることから、集客対策及び情報発信に取り組んでまいります。さらに、本市の歴史的魅力を伝える2つの日本遺産については、構成する自治体や関係機関等と連携した情報発信に努めてまいります。

令和3年度予算 リーディングプロジェクト

(単位:千円)

款	担当 部局	新規 拡充 継続	事業名	主な事業概要	事業費	予算説明 書P
全体事業費					1,717,258	
①名切地区再整備					491,746	
2	企画部	継続	政策企画調整事業	中心市街地まちづくり(名切中央公園整備)にかかる経費	245	15
8	子ども 未来部	継続	中央公園屋内遊び場整備 及び 管理運営事業	「名切地区まちづくり構想」に基づく中央公園における屋内での遊び場の整備	143,351	-
8	都市整備部	継続	中央公園整備事業 及び 公園管理運営事業	「名切地区まちづくり構想」に基づく中央公園の整備	287,150	32
8	都市整備部	継続	公園施設改修事業	令和4年度に中央公園が供用開始することにあわせて、噴水 広場をフラットな広場に整備するもの。	61,000	32
②依ヶ浦半島開発					45,000	
8	都市整備部	新規	公園施設管理運営事業	暫定供用中の九十九島観光公園の維持管理費	45,000	32
③クルーズ船入港体制整備					103,618	
7	観光商工部	継続	観光客誘致促進事業 (クルーズ船受入事業)	三浦地区、浦頭地区における、観光案内業務や歓送迎イベ ントなどにかかる経費	20,334	28
7	観光商工部	継続	訪日外国人誘致事業	クルーズ船観光バス予約システム運用による受入	5,784	28
9	港湾部	新規	大型客船対応基盤整備事業	整備完了における効果の算定及び今後のクルーズ船の大型 化を見据えた施設の耐久性、航路の安全性の検証(三浦地 区)	38,774	33
9	港湾部	新規	佐世保港国際クルーズ拠点 形成事業	道路標識、案内標識の整備等(浦頭地区)	38,726	33
④特定複合観光施設(IR)誘致					119,948	
2	企画部	継続	特定複合観光施設(IR)推進事業	ハウステンボス地域への統合型リゾート誘致の実現に向け ての活動経費	40,986	15
2	企画部	新規	都市インフラ検討事業(IR関連)	ハウステンボス地域への統合型リゾート誘致の実現に向け ての上下水道施設の調査及び整備方法の検討	67,400	15
4	保健福祉部	新規	精神保健事業費(IR関連)	県が作成する「ギャンブル等依存症対策推進計画」に基づく 依存症対策にかかる経費	4,812	24
8	土木部	新規	県営事業負担金(IR関連)	県が実施するハウステンボス周辺地区における道路整備事 業にかかる負担金	6,750	30
⑤基地との共存共生					614,673	
8	土木部	継続	前畑崎辺道路整備事業	道路整備(用地取得、改良工事等)	614,673	30
⑥企業立地・新工業団地整備					203,673	
7	企業立地 推進局	継続	企業誘致活動事業	トップセールス、企業訪問活動	11,433	28
7	企業立地 推進局	継続	企業立地奨励事業	奨励金交付9社(新設増設8社、オフィスビル整備促進1社)	191,293	28
工業 団地 特委	企業立地 推進局	継続	市営工業団地整備事業(相浦地区)	相浦地区新規工業団地整備	947	42
⑦英語が話せる街 佐世保					16,021	
11	教育 委員会	継続	国際理解教育推進事業等	英語実践力を向上させる事業の実施	7,221	34
11	教育 委員会	継続	英語シャワー事業	官民協働による英語学習関連事業の実施	8,800	37
⑧世界で最も美しい湾クラブ加盟の九十九島・世界文化遺産・ 日本遺産の活用					122,577	
7	観光商工部	継続	世界で最も美しい九十九島湾クラブ 推進事業	世界で最も美しい湾クラブ加盟を受けての九十九島PR展開	13,560	28
7	観光商工部	継続	世界遺産活用推進事業	黒島の観光客受入環境整備、世界遺産登録を活用した観光 PR	21,820	28
11	教育 委員会	継続	世界遺産保存整備事業	景観整備や教会守設置、黒島天主堂改修、周知啓発など	35,991	37
7	観光商工部	継続	日本遺産活用推進事業	鎮守府、三川内焼を活用した観光客の誘致促進	6,200	29
11	教育 委員会	継続	日本遺産活用推進事業	鎮守府、三川内焼の保存整備、周知啓発	5,001	36
11	教育 委員会	継続	立神広場整備活用事業	立神広場の日本遺産・鎮守府の拠点施設としての整備	40,005	36

《令和3年度予算／行政経営戦略サイクルイメージ》

